

第2回熊本市性に関する指導の推進委員会議事録

令和5年10月31日（火）14:00～16:00

熊本市役所議会棟2F（総務委員会室）

1 開 会

2 教育委員会挨拶

3 委員長挨拶

4 議 事

（1）第1回推進委員会の内容についての報告

（2）指導資料作成の基本方針について

※グループワーク

秋月委員長：議事の進行につきましては、会議が円滑に進みますよう、委員の皆様のご協力をお願いいたします。

それでは議題の（1）第1回推進委員会の内容についての報告を事務局からお願いいたします。

事務局：事務局から、第1回熊本市性に関する指導の推進委員会の報告をさせていただきます。

資料1をご覧ください。令和5年6月26日火曜日に3時30分から1時間、教育委員会の7階会議室で、第1回推進委員会を行いました。

参加者は資料1に書いてあるとおりです。

議事は主に2つです。

- ・1つ目が推進委員会の趣旨及び指導案集の改定要項について
- ・2つ目が学校における性に関する指導と指導案集改訂の経緯について

秋月委員長：ご報告ありがとうございました。報告に関して質疑等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

各委員：はい

秋月委員長：続きまして議題の2の指導資料作成の基本方針について事務局のほうからご説明をお願いいたします。

事務局：資料の2をご覧ください。本日の「指導資料作成の基本方針について」のグループ協議について資料をつけております。

委員の皆様を、グループA、グループB、グループCの3グループに分けております。Aグループが幼稚園・小学校の先生方、Bグループ及びCグループは、中学校・高等学校の先生方が中心になっています。

健康教育課の事務局及び総合支援課や人権教育指導室の方も入っております。

この後、後ろへ移動していただき、グループ協議を行っていききたいと思います。

※進め方の説明

秋月委員長：この後の協議についての説明がありましたけれども、特に質問等はございませんでしょうか。

各委員：はい

事務局：それでは、この後はA B Cグループそれぞれ、健康教育課の担当がつきますので、そちらの進行に従って協議のほうを進めていただければと思います。

①グループワーク【75分】

- ・自己紹介（5分）
- ・各自考えてきた基本方針を付箋に記入（10分）
- ・模造紙に貼り、一人ずつ発表（20分）
- ・グループ協議（40分）

②グループ発表【20分】

秋月委員長：お待たせしました。Aグループからの発表でよろしいですか。

時間は6分程度ですね。

では、まずAグループから、ご発表よろしくお願いいたします。

※模造紙にまとめたことをもとに発表

Aグループ：それでは、グループでの話し合った基本方針をお伝えしたいと思います。

まず私たちのグループでは、最終的にどのような授業をしたとしても、自分の心と体を大切にする子どもを育てられる授業づくりというのが、やはり大事なのではないかという意見になりました。

26年度の指導案集を見ましたところ、基本として、やはり生命尊重、体を知る、心を知る、人とのつながり、家族そして社会、というのは、普遍的なものではないかということになりました。

その中で、今回は自分を知る（性に関する自己認識）を特化させていく。そして、自分を知るという性に特化したところを軸として、ほかの分野に広げていく方が、授業もやりやすいのではないかということになりました。

また、10年前とは違う現在の課題の性の多様性、性情報の氾濫については、発達段階に沿った形態等を考えて、各学校の実情で選択できるような指導案を示していくと、実際に現場でも使いやすいのではないかという意見が出ました。

以上です。

秋月委員長：ありがとうございます。

では、つづきましてBグループの方、ご発表よろしくお願いいたします。

Bグループ：私たちは、性の多様性の理解や対応、性情報の氾濫、生命の安全教育ってところが主に意見として出たところです。

その中で私たちはキーワードを出してみました。

ジェンダーギャップ、ジェンダーフリー、性の多様性についての授業づくり。

性の多様性についての授業づくりは、早い時期から授業（指導）をしていったほうが良いというような話も出ました。

性情報への正しい知識は、それをもとに判断ができるようにということで、キーワードにしました。相談や医療へのアクセスという情報も早いうちから子どもたちの知識の中に入れたほうが良いのではないかとこのころで話が出ました。

生命の安全教育については、前回のピンクの指導案集のほうには、女性のほうが被害が多いと書かれていたんですけども、今は性差にかかわらず性被害の予防というところで、キーワードとして出させていただきます。

以上です。

秋月委員長：ありがとうございました。

では最後に、Cグループの先生方、ご発表よろしく願いいたします。

Cグループ：Cグループも基本方針に迫るような、本当にいろんな話合いが出来たので、この時間だけでも充実していたなと私自身も思っているところです。

4点挙げさせていただいていますが、最終的にやっぱり「計画って大事だね」という話になったところでした。

まず、1番目に集団指導と個別指導の見える計画というところで、集団指導をもとにした指導計画案があるんですけども、その中で集団で学んだあとに誰かに助けてって言おうとか、誰かに支援を要請しようというように思えるような集団指導と個別指導が補完できるような計画になる必要があるということ。

2番目に、単元を通して狙いに迫る事業計画の立案ということで、1時間完結ではないというところで、今回の学習指導要領の改訂の中で、学び取るそういう事業の大切さを考えたときに、1時間の授業だけでは終わらずに、例えばお家の方と話してみようとか、もうちょっと自分で家庭に帰ってリサーチしてみようとか、そういうように1時間で完結しない指導案、計画の立案があってもいいのではないかという意見が出ました。

飛んで4番目なんですけども、学校内外の専門家の活用を踏まえた計画ということで、私も中学校の現場にいますが、性の多様性とか性感染症や妊娠中絶の問題にしても、先生方の知識や認識のアップデートが出来ていないことがとても多く感じられて、学校内の養護教諭だったり、スクールカウンセラーだったり、あるいは外部の専門家を呼んで、指導を組み立てるという計画があってもいいのではという意見がありました。

3番目はやはりAグループでもあったように、根底として、やはり一人一人が大切にされたり自分のこととして考えたり、隣の人とか周りの人を大切にするという、心を育てる計画が根底には必要でないかというところで、話合いをしたところです。

以上です。

秋月委員長：Cグループの先生方、ご発表ありがとうございました。

これで、全てのグループの発表が終わりました。

そうですね。かなり時間をかけて話合い進めたんですけども、これでも足りないくらいだったのかなと思っています。

やはり、グループに分かれて、ふだん、現場で経験されてる先生方の声を聞くのは非常に重要だなと思うとともに、この共有すること、それから、納得し合うこと、そういう実感がすごく意味がある時間なのではないかなと思った次第です。私も大変勉強になり、ありがとうございました。

たくさん出していただいたご意見を、この後は事務局のほうで、まとめているだ

いて、基本的な考え方の方針を作成いただくというふうになるのかと思います。
それでよろしいですかね。

事務局：はい。

秋月委員長：今日は本当に長い時間、たくさんのご意見をいただき、どうもありがとうございました。本日の会議は、皆様のご協力によって滞りなく、終了することが出来ました。

本当にありがとうございました。

これで、議長の役目を終わらせていただきます。

事務局：秋月委員長ありがとうございました。

また、委員の皆様もお忙しい中、長時間にわたりグループ協議等にご参加いただきありがとうございました。

5 連 絡

- ・ 11月14日（火）「第2回性に関する指導の研修会」のご案内
- ・ 第3回熊本市性に関する指導の推進委員会は、12月末もしくは1月上旬、中旬あたりで開催予定

6 閉 会